「住み慣れた場所で自分らしく暮らし続ける」をサポート

日置市地域医療連携室便り

令和 8 年 11 月発行

日置市は、市民の皆さまが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括支援センター内に「地域医療連携室」を開設しています。

地域医療連携室の役割

①地域の医療・介護資源の情報提供
②医療と介護のネットワークづくり
③在宅医療・介護連携に関する相談や支援
④医療・介護関係者向けの研修
⑤市民向けの普及啓発・出前講座など



こんな時にご相談ください

- 訪問してくれる薬局を知りたい
- 家での看取りを考えたい
- 訪問診療をしてくれる医療機関ってどこ？
- 人生会議って何？

在宅医療は住み慣れた場所での暮らしを支えます

通院が難しい場合、医師や看護師などが、自宅または施設などに訪問して、診察・治療・投薬などを行い、最期まで安心して暮らせるように支援します。



在宅医療イメージ図

自宅など

かかりつけ医や看護師が訪問することで在宅生活を続けながら病状に合った医療サービスを受けることができます。



在宅医療を支える人たち

・栄養士　・薬剤師
・リハビリ専門職
・看護師
・介護保険サービス事業者
・医療機関・在宅療養診療所
・歯科医・歯科衛生士
・医療連携相談室
・地域包括支援センター
・ケアマネジャー

かかりつけ医以外にもさまざまな専門職が協力・連携しています！

かかりつけ医以外の医療機関

24 時間体制の在宅医療に協力するため、病状が急変したときや精密検査が必要になったときは、必要に応じた医療サポートを行います。



かかりつけ医

在宅医療の中心
自宅などを訪問し、日常的な治療や健康管理を行います。さらに、他の医療機関や介護・福祉分野の専門職とも連携します。



医療情報の共有・連携

伝えていますか 自分の気持ち

ACP 人生会議

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、希望を人に伝えたりする事ができなくなると言われています。

日置市では、万が一の時に備えて、みなさんが希望する医療やケアについて前もって考え、家族や信頼できる方と話し合いながら共有する取り組みを推進しています。この取り組みは「人生会議=ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」と呼ばれています。

日置市では、ご家族や医療・介護等の支援者に自分の思いや情報を伝えるための「明日ノート(エンディングノート)」を作成し、配布しています。これからの人生を自分らしく生きるために活用してみませんか？

地域包括支援センター・
各支所・地区公民館・医療機関
などで**無料配布**しています！



いい(11)
看取(30)り・看取(30)られ
11月30日は、「人生会議」の日です。この機会に家族や信頼できる人と話し合ってみませんか？



人生会議の展示のお知らせ！！





中央図書館	➡	11月 1日(日)	～	12月28日(月)
ひよし図書館	➡	11月 1日(日)	～	12月27日(日)
ふきあげ図書館	➡	10月16日(金)	～	12月19日(土)
本庁ロビー	➡	11月 2日(月)	～	11月30日(月)
日置市中央公民館	➡	11月 2日(月)	～	11月30日(月)

※東市来図書館は改修工事により休館中のため、展示はありません。

◎地域医療連携室では、住み慣れた日置市で自分らしい暮らしを続けるために活動をしています。

在宅医療介護連携推進事業
ホームページは！！

日置市　在宅医療介護連携　検索

≪お問い合わせ先≫
日置市地域包括支援センター　地域医療連携室
〒899-2592　日置市伊集院町郡1丁目100番地
TEL:099-248-9423　FAX：099-273-0018